



碧南ロータリークラブ週報

第2936回例会 令和元年12月11日(水)

- 会長 伊藤 正幸
- 幹事 黒田 泰弘
- 会場監督(SAA) 永坂 誠司

2019-2020 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



- 会報委員 鈴木きよみ・林 俊行・平松則行・石川鋼勇

● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のお弁当

大正館

● 本日のお客様

愛知工科大学 学長 安田孝志様

● 本日の卓上花

スプレーバラ シンディ

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。先週は大変寒い日が続きましたけれども、今週に入りまして昨日ぐらいから異常なぐらいに感じる程の暖かい日が続いております。高温傾向は来週も続くということでございまして、20度近くまで上がる日もあるということも言われております。インターネットで調べますと、ダイポールモード現象というインド洋の海水温の変化で、日本付近の偏西風が北に蛇行しておりまして、寒気が南下しにくいという状態が続くということでございます。まだまだ昼夜の寒暖差は大きくなっておりますので、体調を崩さないようにご自愛いただきたいと存じます。



伊藤正幸会長

4月に開催されました規定審議会で日本語の推奨 RC 細則等が開示されております。長田豊治さんが新旧の対照表を作ってくださいまして、理事会メンバーに事務局よりメールボックスにて配布していただいております。次回の理事会でご意見を伺いまして、細則につきましては会員の皆様で評議していただきたいと存じますので、よろしくお願い致します。

先週の金曜日に西三河分区第2回会長幹事会が安城のすず岡で開催されまして、9クラブ

の会長から近況報告がございました。刈谷 RC は地区補助金でハイウェイオアシスにて音楽とのふれあい事業をされたということでございます。安城 RC は健康体操が会員の発案でできたということで、それを発表されたということでございます。西尾 RC は伊勢志摩へ一泊旅行に行くということと、IM よろしく願いしますというようなことがございました。知立 RC は次年度地区大会のホストということでございまして、そちらの方の願いがございました。ガバナー補佐からはお礼と IM の協力のお願いがございました。そして、毎年留学生を受け入れております高浜 RC の神谷会長が、ホストファミリーからホスト返上をしたいという申し出を受けて困っているというお話がございまして、色々と難しくなってくるのかなと思った訳でございますけれども、こういった苦勞を乗り越えて前向きにというお話もされておりましたので、次回お会いした時にお話を伺おうかなと思っております。今年度も IM は全員登録になっておりますので、会員の皆様にはご無理をお願いしますが、どうぞよろしくお願い致します。碧南 RC がご報告させていただいたのは、先月、世界ポリオデーということで碧南 RC のイベントをロータリーボイスというブログで紹介していただきましたので、そちらの報告をさせていただきました。

本日の卓話の講師の安田学長には、碧南までようこそお越しくださいませ、ありがとうございました。「温暖化による台風強大化と高潮大災害の脅威」という演題で卓話をしていただきます。高潮の被害といいますと、やはり伊勢湾台風ということでございます。昭和 34 年 9 月 26 日の夕方から 6 時間余りで本州を縦断致しました。碧南市も甚大な被害を受けまして、その翌日が碧南 RC のチャーターナイトで、その時の奉仕の実践が私共クラブの伝統となっております。温暖化によりどれだけの脅威が訪れるのかを委細漏らさず拝聴したいと存じます。

最後になりますけれども、2021～22 年度のガバナー補佐を私が拝命することになりました。歴代会長会議にてご推薦いただきまして、先の理事会にてご承認いただきました。何分にも浅学非才、力不足ですので、会員の皆様のご理解、ご協力、ご支援を賜りたく伏してお願い申し上げます、会長挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- 先週の 12 月 4 日に歴代会長会議を開催致しまして、2021～22 年度ガバナー補佐に伊藤会長、並びに IM の実行委員長に平岩統一郎さんがご推挙されまして、その後の理事会で満場一致で承認されましたことを改めてご報告申し上げます。その他の理事会報告は、幹事報告書の通りでございます。
- 例会変更のお知らせも幹事報告書の通りでございます。
- 本日、メールボックスの中に来年の 1 月に予定させていただきました職場例会のご案内等がございますので、お目通しをよろしくお願い申し上げます。



黒田泰弘幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 66 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 11 名) 出席者 52 名	
出席対象者 52/62 名	出席率 83.87%
欠席者 14 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- 伊藤 正幸君 大役をおおせつかりました。一所懸命がんばります。よろしくお願い申し上げます。
- 長田 和徳君 碧南商工会議所月報で、みなさまから連絡いただきましたが、誤植でまだまだ社長現役です。ガンバります。
- 粟津 康之君 思うところありまして、個人で出す年賀状をやめることとしました。日頃の皆様のご厚情に感謝するとともに、ご無礼の旨ご容赦下さい。
- 杉浦 秀延君 本日の卓話講師 愛知工科大学 学長 安田孝志様をご紹介します。よろしくお願い致します。

卓話

「温暖化による台風強大化と高潮大災害の脅威」

愛知工科大学 学長 安田孝志様



安田孝志様

ご紹介いただきまして、ありがとうございます。本日、皆様の前でこうやって卓話をさせていただくというのも杉浦秀延さんのご紹介によるものです。本当にありがとうございます。それでは、始めさせていただきます。よろしくお願い致します。

これは今年の 11 月 20 日の新聞ですが、台風 15 と 19 号での損害保険の支払いが 1 兆円規模になる見込みという記事です。台風 19 号は大きな被害が出たのですが、伊勢湾台風に比べると被害としては遥かに小規模です。東日本大震災に比べると伊勢湾台風も人的被害では 3 分の 1 程度なんです。経済的被害は伊勢湾台風の方が大きかったと思っております。伊勢湾台風はこれらとは比較にならないくらいの被害が出たということです。

地球温暖化についてはご存知だと思いますが、100 年前に比べて確実に温度は上がっております。ヨーロッパアルプスの氷河や南米の氷河が消滅していております。要するに北半球でも南半球でも確実に目に見える形で変化していております。温暖化は水蒸気を増やし、水蒸気は上昇して水や氷に変わる時に大気のエネルギーになるため、風や台風が今までより強くなります。変動が大きくなる訳ですから赤道地方の大気をこちらに引っ張ってきます。それから、北極の方の冷たい空気を温帯の方に下ろしてきます。こういうことが異常気象と

いうもののメカニズムなんです。

台風・高潮は、地球規模での水・エネルギー輸送と湾内海水循環の役割を担いますが、豪雨・暴風・高波・高潮災害の誘因でもあります。地球で最大の海洋（太平洋）の北西端台風常襲地帯に位置する島国日本では、これらの災害は宿命です。適度の台風・高潮は環境面や水資源としてプラスになりますが、限度を超える台風・高潮は巨大災害の誘因になります。伊勢湾台風によって災害が大規模化した最大の要因は、それまでの日本最大の高潮（室戸台風 2.9m）を大きく上回る 3.6m の高潮発生と湾奥部の日本最大のゼロメートル地帯であることの知識や自覚を欠いた状態で都市化が進んだことにあります。また、貯木場からの木材流出、夜間の襲来、停電などもあります。伊勢湾奥部は、東京・伊勢・大阪の 3 大湾の中で最も高潮災害の危険性が高いです。高潮の潮位は水深（東京湾 45m、伊勢湾 20m、大阪湾 30 m）に反比例します。また、台風に伴う吹送流によって外洋から湾内に運ばれる海水量（伊勢湾台風時の最大量約 122 万 m³/s）に比例します。伊勢湾はその平面地形から最も海水が流入しやすくなっております。

伊勢湾台風が来襲した 1959 年 9 月の海岸（海面温度分布）と大気（気団分布）の下で、最大限まで発達した台風が今世紀末の 9 月に発生すると仮定しますと、3 大湾に最悪のコースで来襲した時に発生する最大の高潮（潮位偏差）は、東京湾 4.0m（2.3m）、伊勢湾 6.9m（過去最大 3.55m）、大阪湾 3.3m（3.1m）になります。実際の潮位（海面高）は、これらに満潮位 1.22m と温暖化による海面上昇（0.48m）が加わります。

今世紀末に巨大台風が来襲し、6.9m の高潮が発生したら、海面は名古屋港で海拔 8.6m、中部国際空港で 5.24m まで上昇し、高潮に暴風・高波・暴雨災害が加わって大災害が発生します。

- ・日本一の輸出港（日本の輸出額の 15%）である名古屋港の壊滅（海拔 8m を超える潮位と 40m/s 超えの暴風）
- ・中部国際空港の壊滅（滑走路は水深 2m の海、そこに 50m/s の暴風と 6m の高波、海拔 5.24m の潮位に対して、護岸高は海拔 4.8m～2.8m）
- ・日本最大のゼロメートル地帯に位置する臨海域の壊滅（木曾川河口で海拔 6.8m の潮位、4.5m の高波、50 m/s の暴風）
- ・東京と並ぶ名古屋地下街の壊滅

というような被害が予想されます。

このまま温暖化が進むと本当に大変なツケを払わなくてはいけなくなります。我々の孫や曾孫世代にとんでもないツケを回すことになる訳です。簡単ではありませんが、温暖化に対しては世界がやろうと言った時に日本が先頭に立ってとは言いませんが、進んで協力してほしいなと思っております。よろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和元年12月21日（土）17：00～

年忘れ家族会 会場：衣浦グランドホテル

令和元年12月25日（水）は21日（土）の振替休会

令和2年1月1日（水）は法定休日のため休会

令和2年1月8日（水）新年例会